

福岡市地域包括ケアシステム推進会議に提出する課題について

身寄りがない 高齢者等	<ol style="list-style-type: none"> 1. 身寄りがない高齢者で意思決定が困難な場合の、医療行為の同意 2. 身寄りがない高齢者が徘徊し保護されたときの受け入れ対応の充実 3. 地域での見守り活動における個人情報の把握と取扱いの充実
医療	<ol style="list-style-type: none"> 1. 精神科医師の往診をはじめとして、身近に相談できる体制づくり (関わりが難しい方の中には身寄りがない認知症の方や精神症状のある方がよく見受けられる) 2. 急性期病院から突然退院する方の調整のありかたについて 3. 在宅での緩和・終末期ケアの対応できる医師不足が見込まれることなどがあり、緩和・終末期の在宅医療の体制づくり

南区の部会において継続して検討（共有）する課題

- 「身寄りがない（親族の関わりがない）高齢者への支援」についての課題は多岐にわたるが、それらを以下の9通りの状況に分類し、各部会で今後も検討を進めていく
例：権利擁護部会では12月の会議で①、③について検討したが、来年度は他の状況について検討する。

- | | |
|-------------------|--------------------|
| ① 医療同意が必要な場合 | ⑥ 外出・通院に付き添いが必要な場合 |
| ② 入所契約・身元保証が必要な場合 | ⑦ 安否確認が必要な場合 |
| ③ 住居の賃貸借契約が必要な場合 | ⑧ 徘徊対応が必要な場合 |
| ④ 金銭管理が必要な場合 | ⑨ 死去した場合 |
| ⑤ 日用品補充が必要な場合 | |

- いずれの状況にあっても、複数の部会にまたがる課題が想定されるため、会議などを通じて部会間の情報共有や連携を図る。